

1. 科目名(単位数)	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ (4単位)	3. 科目番号	SSMP3159 SNMP3358 SCMP3359 SBMP3159 SPMP3159 SSMP3158 PSMP2458
2. 授業担当教員	海老澤 圭視		
4. 授業形態	講義、グループディスカッション、ディベート、ロールプレイ、調べ学習、発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」および「ソーシャルワークの基盤と専門職」で学んだ基礎(価値・倫理、ソーシャルワークプロセス、関連制度・社会資源等、基礎理論)を前提に授業を行う。可能な限り上記科目を履修済みであることが望ましい。		
7. 講義概要	本授業「ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ」は、「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」で学習したソーシャルワークの基本的考え方、専門職倫理、ソーシャルワークプロセスと付随する理論等を基盤として、個人・家族・集団・地域社会といったクライアント・システムに対し、社会福祉士がソーシャルワーカーとして提供する専門知識、応用理論、実践技術を学ぶ。さらに、利害の対立や調整が求められる場面でのネゴシエーション、コンフリクト・レゾリューション、関係者間の連携・協働を促進するファシリテーションやプレゼンテーション、活動を継続可能にするためのソーシャル・マーケティングについて、事例検討・グループディスカッション・ディベート・ロールプレイを通して理解を深める。なお、本講義は社会福祉士国家試験の「ソーシャルワークの理論と方法(専門)」に該当する科目である。		
8. 学習目標	<p>下記の目標を達成することが期待される</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 総合的かつ包括的な支援の考え方を説明でき、家族支援・地域支援・非常時/災害時支援の要点を整理できる。 2. ソーシャルワークにおける援助関係形成のプロセス、形成方法、留意点を説明できる。 3. ネットワーキングとコーディネーションの意義・目的・方法を説明できる。 4. ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発の考え方と基本的手順を説明できる。 5. カンファレンスの目的、種類、進め方(合意形成の視点)を説明できる。 6. 事例分析・事例検討・事例研究の違いを理解し、目的に応じて活用できる。 7. ネゴシエーション、コンフリクト・レゾリューション、ファシリテーション、プレゼンテーション、ソーシャル・マーケティングをソーシャルワーク実践に位置づけ、基本的な活用を説明できる。 		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	<p>【平常課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習：テキストの該当範囲を読み、重要概念・用語を整理して授業に臨む。 ・事後学習：授業の要点を振り返り、学んだ内容を自分の言葉でまとめる(疑問点の整理を含む)。 <p>【レポート課題】(提出方法・字数・締切は授業内で指示する)</p> <p>レポート課題1：「総合的かつ包括的な支援」の必要性について、家族支援、地域支援、また非常時・災害時支援、いずれかの例を用いて説明せよ。</p> <p>レポート課題2：社会資源開発の方法について、事例に基づき説明せよ。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】</p> <p>一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集</p> <p>『最新 社会福祉士養成講座 6 ソーシャルワークの理論と方法 [社会専門]』中央法規出版、2021年。</p> <p>【参考資料】(授業内で適宜配布・提示)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士倫理綱領 ・ソーシャルワーク専門職のグローバル定義 ・事例資料(演習用) 		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習目標(1~7)の到達度(概念理解に加え、事例への適用・説明の妥当性を含む)。 <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 平常点(授業態度・発表・発言・学習課題など) 40% (2) 課題レポート 20% (3) 筆記試験 40% <p>なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>本授業は、講義に加えて事例検討、グループディスカッション、ディベート、ロールプレイ等の演習を通して、「知っている」から「使える」へと学びを深めることを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加：意見の違いを尊重し、互いの学びに資する発言・対話を心掛けること。 ・事前・事後学習：毎回の予習・復習を前提に授業を進める。用語や概念は授業中に確認し、理解を積み残さないこと。 ・守秘と倫理：事例検討で扱う情報は授業外に持ち出さない(個人が特定される情報の共有は行わない)。 ・学習環境：私語、スマートフォン等の不適切な使用は控え、集中して受講すること。 ・質問・相談：疑問点は早めに相談すること(授業前後・授業内で対応)。 		
13. オフィスアワー	授業前後の時間、またはメール等で事前連絡のうえ個別相談に対応する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション :「ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ」を学習するにあたっての説明と確認 「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」の振り返り	事前学習	「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」で学習したことを説明できるようにする。
		事後学習	「ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ」のシラバスにて課題や各回の内容を確認する。

第2回	総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの実際(1) : 総合的かつ包括的な支援の考え方について理解を深める	事前学習	多様化・複雑化した生活課題への対応方法についてテキストを用いて内容を明らかにする。
		事後学習	総合的かつ包括的な支援の必要性について説明できるようにする。
第3回	総合的かつ包括的な支援の考え方についての事例検討	事前学習	提示された事例を読み、不明な点を明らかにする。
		事後学習	総合的かつ包括的な支援の必要性について説明できるようにする。
第4回	総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの実際(2) : 家族支援の実際について学ぶ	事前学習	家族が抱える複合的な課題についてテキストを用いてその内容を調べる。
		事後学習	家族支援における総合的かつ包括的な支援の必要性について説明できるようにする。
第5回	家族支援についての事例検討	事前学習	提示された事例を読み、不明な点を明らかにする。
		事後学習	家族支援における総合的かつ包括的な支援の必要性について説明できるようにする。
第6回	総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの実際(3) : 地域支援の実際について学ぶ	事前学習	地域支援の特徴と必要な知識・スキルについてテキストを用いてその内容を調べる。
		事後学習	地域支援における総合的かつ包括的な支援の必要性について説明できるようにする。
第7回	地域支援についての事例検討	事前学習	提示された事例を読み、不明な点を明らかにする。
		事後学習	地域支援における総合的かつ包括的な支援の必要性について説明できるようにする。
第8回	総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの実際(4) : 非常時や災害時支援の実際について学ぶ	事前学習	災害ソーシャルワークの目的と留意点についてテキストを用いてその内容を調べる。
		事後学習	災害ソーシャルワークの必要性について説明できるようにする。
第9回	非常時・災害時支援についての事例検討	事前学習	提示された事例を読み、不明な点を明らかにする。
		事後学習	災害ソーシャルワークの必要性について説明できるようにする。
第10回	ソーシャルワークにおける援助関係の形成(1) : 援助関係形成の意義と概念について学ぶ	事前学習	ソーシャルワーク専門職のグローバル定義についてその内容を確認する。
		事後学習	援助関係形成の意義と概念について説明できるようにする。
第11回	ソーシャルワークにおける援助関係の形成(2) : 援助関係形成の形成方法について学ぶ	事前学習	社会福祉士倫理綱領(及び行動規範)についてその内容を確認する。
		事後学習	援助関係の形成方法について説明できるようにする。
第12回	ソーシャルワークにおける援助関係の形成(3) : 援助関係形成の留意点について学ぶ	事前学習	ソーシャルワークの実践レベル(マイクロ・メゾ・マクロ)についてその対象についてまとめる。
		事後学習	援助関係の形成方法の留意点について説明できるようにする。
第13回	ネットワークの形成(1) : ネットワーキングについて学ぶ	事前学習	「ネットワークとネットワーキングの定義」についてテキストを用いて調べる。
		事後学習	ネットワークの機能、ネットワーク構築のプロセスと手法について説明できるようにする。
第14回	ネットワークの形成(2) : コーディネーションについて学ぶ	事前学習	「ソーシャル・キャピタル」についてテキストを用いて調べる。
		事後学習	コーディネーション意義と目的について説明できるようにする。
第15回	ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発(1) : 社会資源の活用・調整について学ぶ	事前学習	「社会資源の種類と内容」についてテキストを用いて調べる。
		事後学習	社会資源活用の意義と目的について説明することができる。
第16回	ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発(2) : 社会資源の活用・調整に係る事例の検討	事前学習	提示された事例を読み、不明な点を明らかにする。
		事後学習	社会資源の活用・調整について、事例を通じて確認できたことをまとめる。
第17回	ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発(3) : ソーシャルワーク実践と社会資源との関係について理解する	事前学習	「ジェネラリスト・ソーシャルワーク」とは何かについてまとめる。
		事後学習	ソーシャルワーカーの介入方法と社会資源との関係について説明することができる。
第18回	ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発(4)	事前学習	「社会資源開発の方法」についてテキストを用いて調べる。

	: 社会資源開発のさまざまな方法について学ぶ	事後学習	社会資源開発に必要なソーシャルワーカーのスキルについて説明することができる。
第19回	ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発 (5) : 社会資源開発に係る事例の検討	事前学習	提示された事例を読み、不明な点を明らかにする。
		事後学習	社会資源開発について、事例を通じて確認できたことをまとめる。
第20回	カンファレンス (1) : 会議の種類と方法について学ぶ	事前学習	「会議の種類」についてテキストを用いて調べる。
		事後学習	ソーシャルワーカーが関わる会議について説明できるようにする。
第21回	カンファレンス (2) : ミクロ・メゾ・マクロの視点から会議について理解を深める	事前学習	ミクロ・メゾ・マクロの概念についてテキストを用いて調べる。
		事後学習	ミクロ・メゾ・マクロの会議とはそれぞれどのようなものが該当するのかをまとめる。
第22回	事例分析・事例検討・事例研究の活用 (1) : 事例分析について学ぶ	事前学習	「事例分析とは」についてテキストを用いて調べる。
		事後学習	事例分析の意義と目的について説明できるようにする。
第23回	事例分析・事例検討・事例研究の活用 (2) : 事例検討について学ぶ	事前学習	「事例検討とは」についてテキストを用いて調べる。
		事後学習	事例検討の意義と目的について説明できるようにする。
第24回	事例分析・事例検討・事例研究の活用 (3) : 事例研究について学ぶ	事前学習	「事例研究とは」についてテキストを用いて調べる。
		事後学習	事例研究の意義と目的について説明できるようにする。
第25回	ソーシャルワーク技術 (1) : ネゴシエーションについて学ぶ	事前学習	ネゴシエーションの意義と留意点、交渉の基本についてテキストを用いて内容を調べる。
		事後学習	ネゴシエーションのプロセスについて説明できるようにする。
第26回	ソーシャルワーク技術 (2) : コンフリクト・レゾリューションについて理解する	事前学習	「コンフリクト・レゾリューションとは何か？」についてテキストを用いて調べる。
		事後学習	コンフリクト・レゾリューションについて説明できるようにする。
第27回	ソーシャルワーク技術 (3) : ファシリテーションについて学ぶ	事前学習	ファシリテーションの意義とファシリテーターの役割についてテキストを用いて内容を調べる。
		事後学習	ファシリテーションのプロセスについて説明できるようにする。
第28回	ソーシャルワーク技術 (4) : プレゼンテーションについて学ぶ	事前学習	プレゼンテーションの意義と方法、留意点についてテキストを用いて内容を調べる。
		事後学習	プレゼンテーションの方法について説明できるようにする。
第29回	ソーシャルワーク技術 (5) : ソーシャル・マーケティングについて理解する	事前学習	「ソーシャル・マーケティングとは何か？」についてテキストを用いて調べる。
		事後学習	ソーシャル・マーケティングについて説明できるようにする。
第30回	講義のまとめ	事前学習	これまでの学習内容を振り返り、不明な点等を明らかにする。
		事後学習	まとめの内容を整理し、試験に向けて不足事項を学習する
期末試験			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合的かつ包括的なソーシャルワーク実践に必要な知識と技術に関する理解を問う。 ・ ソーシャルワークにおける援助関係の形成に必要な知識と技術、姿勢に関する理解を問う。 ・ 社会資源の活用、調整、開発に必要な知識と技術、留意点に関する理解を問う。 ・ 講義内で扱った専門用語等に関する理解を問う。 			